

### 3.公的機関からの依頼試験・設備機器利用

(1) 長崎県窯業技術センター条例第 10 条の規定により、手数料が減免された依頼試験の依頼状況

項目	依頼者	件数
遠赤外線分光放射計	鹿児島県工業技術センター 地域資源部シラス研究開発室 (令和 4 年 1 月 11 日)	1 件

## V. 技術者養成

### 1. 技術人材養成事業

#### 1-1 技術研修事業

〔目的〕新製品の開発や生産技術の向上を図るため、企業の技術者や後継者を受け入れて研修する。

研修内容	研修期間	事業所名	担当者
フォトショップ及びイラストレーターの技術取得	令和 3 年 4 月 7 日～6 月 30 日	陶磁器製造業	桐山 有司
下・上絵加飾技術	令和 4 年 1 月 11 日～3 月 25 日		吉田 英樹 稲尾 恭敬
釉薬原料の性質と調合式 釉調合の実際と証明	令和 3 年 4 月 8 日～7 月 7 日	個人	吉田 英樹
釉薬の調合技術	令和 3 年 7 月 1 日～12 月 28 日 (延長 1 回)	生地製造業	吉田 英樹
機械ろくろのへら作り	令和 3 年 9 月 22 日～11 月 18 日	陶磁器製造業	小林 孝幸
機能性加工液の製造方法	令和 3 年 10 月 26 日	窯業・土石製品製造業	狩野 伸自
走査型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡用エネルギー分散型 X 線分析装置の操作研修	令和 3 年 11 月 4 日	素材関連製造業	高松 宏行
走査型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡用エネルギー分散型 X 線分析装置の操作研修	令和 3 年 12 月 15 日	素材関連製造業	高松 宏行
走査型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡用エネルギー分散型 X 線分析装置の操作研修	令和 3 年 12 月 21 日	精密機器製造業	高松 宏行

1-2 セミナー事業

〔目的〕 技術情報、デザイン情報の迅速な提供及び技術革新に対応できる意識改革を図るためセミナー等を実施する。

(1)

テーマ	デザイン導入経営支援セミナー		
期 日	令和4年1月20日、1月27日、2月3日		
タイトル	「実践！SNS ビジネス活用セミナー」		
概 要	<p>近年、特に普及・拡大している SNS をテーマに、日々変わりゆく SNS 戦略を分析・活用し、情報発信のそのものをデザインしていくことがこれからの企業経営にとっていかに重要な戦略となるかということについて、3回のシリーズでセミナーを開催した。1日目は、SNS についての基礎的な講義と自社の強みや得意とするものの再確認について。2日目は、参加者を4、5人のグループに分け、県内企業を事例にディスカッションを行い、3日目は、参加者の SNS に対する悩みや疑問を踏まえ、自社の SNS をベースに他社と繋がっていく方法や顧客をもっと増やすための方法について、さらに応用編として SNS 広告についての講義を行った。参加企業の SNS の活用頻度は様々であったが、あらためて SNS を理解することができ、今後の自社の広報戦略やビジネス拡大のヒントを得ることができた。</p>		
講 師	渡辺和博氏、田浦健吾氏（戦略デザインファクトリー）		
受講者	115名（延べ） （オンライン）	担当者	戦略・デザイン科 友池 知郁、桐山 有司

(2)

テーマ	<p>持続可能な生産活動のススメ            ① 基調講演 「国内における SDGs の動きと新たなビジネス」            ② 事例紹介 「波佐見町における SDGs の取り組み」</p>		
期 日	令和4年2月16日		
概 要	<p>①1987年の持続可能な成長宣言から、2000年のMDGs、2015年のSDGsなど、サステナブルを巡る歴史的変遷についての説明。さらに、SDGsの内、ゴール12（持続可能な消費と生産）と、ゴール13（気候変動）に焦点を絞り、ビジネスモデルの説明や、日本の大手企業による具体的な取り組み事例についてご講演いただいた。</p> <p>②数年前から波佐見町が中心となり、SDGsの取り組みが行われてきた。講師の河野氏はコンサルとして参画し、これまでは廃棄処分されていた廃石膏を、セメントと混合した白い壁や、土壌改良材として農耕地へ散布するなど有効利用を図ってきた。さらに収穫した米粉でクッキーを作り、陶磁器の容器とコラボで販売するなど成功事例についてご紹介いただいた。</p>		
講 師	<p>① 壁谷 武久氏（一般社団法人サステナブル経営推進機構 専務理事）            ② 河野 公彦氏（incl 合同会社 代表）</p>		
受講者	103名（オンライン）	担当者	環境・機能材料科 秋月 俊彦、高松 宏行

### 1-3 教育訓練

〔目的〕 人材の育成と技術力向上を図ることを目的に陶磁器製造技術、品質管理、デザイン、SNS の活用方法等をテーマとして、休業中の従業員に対して経済産業省雇用調整助成金制度に基づく教育訓練を実施する。

	企業数	回数	のべ人数
4月	1	4	4
5月	0	0	0
6月	3	9	14
7月	3	12	24
8月	2	9	9
9月	2	11	11
10月	1	4	4
11月	1	4	4
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	1	1	1
合計	4 ※	54	71

※企業数のみこれまでに契約した企業数